

「市民の笑顔がきらり輝く人づくり」のための
自己点検・評価報告書

平成25年3月

御前崎市教育委員会

〈参考〉地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

はじめに	1
1 趣旨	2
2 点検・評価の対象	2
3 点検・評価の方法	2
4 点検・評価結果の構成	2
御前崎市教育委員会の職務・事業内容	3
1 教育委員会の活動	3
2 教育委員会が管理・執行する事務	4
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	5
施策1 生活や遊びを通し「生きる力」を培う幼児教育	5
施策2 夢と活力にあふれ、一人一人が本当に大切にされる学校教育の推進	6
施策3 未来を担う子どもを育てる教育の充実	7
施策4 家庭・地域の教育力向上と青少年教育の充実	7
施策5 だれもが いつでも どこでも学ぶことができる生涯学習の場づくり	7
施策6 市民の文化・芸術活動の支援と地域文化財の保護	7
施策7 心身ともに健康な市民を目指すスポーツの振興	8
御前崎市教育委員会の自己点検及び評価	9
大項目1 教育委員会の活動	9
大項目2 教育委員会が管理・執行する事務	10
大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	11
学識経験者の意見	15
総合評価	15

はじめに

御前崎市教育委員会では、第1次御前崎市総合計画に基づき、「市民の笑顔がきらり輝く人づくり」を基本目標として、毎年度発行している「御前崎の教育」の中で、主要施策を明確に示すとともに、施策の実現に努めてまいりました。

平成19年6月に地教行法が改正され、この改正法の大きな柱の一つである「教育委員会の責任体制の明確化」の方策として、法第27条により、教育行政の効果的推進及び市民への説明責任を果たすべく、「教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行う」ことが義務付けられたところであります。

このことを受けて御前崎市教育委員会では、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について自己点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に提出するとともに、市民への公表を行ってまいりました。

本報告書は、平成24年度御前崎市教育委員会の活動及び「御前崎の教育」で示した主要7項目の実現のための24施策について点検及び評価を行い、その客観性を確保するため、学識経験者4名から所見を頂くと共に、第三者的立場から静岡大学教育学部教授の山崎保寿氏にも外部評価をしていただき、ここに報告書として取りまとめたものであります。

市民の感覚、視点を持って点検・評価を行うことは、今日の課題や今後の取り組み方針が明確になる点において大変意義のあるものと思います。

今後も基本目標である、「まちづくりは人づくりから」「人づくりはまちづくりから」の人づくりを目標として、行政が市民の協力をえながらそれぞれの施策を推進してまいり所存であります。

平成25年3月

御前崎市教育委員会委員長 伊藤 博之

1 趣旨

御前崎市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定に基づき、毎年、その権限に属する主要な施策や事務事業の取組状況について、政策効果を把握し、その必要性・効率性等の観点から、自ら点検及び評価を行い、課題や取組の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、この点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、市議会に提出するとともに一般に公表することにより、市民に対する説明責任を果たし、信頼される教育行政を推進しようとするものです。

2 点検・評価の対象

点検及び評価は、平成24年度における教育委員会の職務内容や主要な施策・事業を対象として実施いたしました。

3 点検・評価の方法

点検及び評価の実施にあたっては、平成24年度の事業について、その進捗状況を総括するとともに、内部評価を行うことにより課題や今後の取組の方向性を明らかにし、その結果を外部評価として、御前崎中学校長 杉山 茂氏、元小学校長 赤堀 吉史氏、元幼稚園長 平野 豊氏、同元園長 河原崎なおみ氏のご意見や、静岡大学教育学部教授 山崎 保寿氏に総合評価を頂くことにより、教育に関する学識経験者の知見活用に努めました。

4 点検・評価結果の構成

点検・評価結果については、「御前崎市教育委員会の自己点検・評価シート」で表しました

(1) 御前崎市教育委員会の自己点検・評価シート

教育委員会の職務・事業内容及び事業体系を大きく3つの大項目に区分し、自己点検・評価シートで構成しています。

大項目1「教育委員会の活動」

教育委員会という組織の自らの行動、すなわち教育委員が自ら行う行為・活動を中心に、6つの中項目に分け、点検事項として教育委員会会議の開催回数、運営、広報・公聴、研修会など小項目を設け、点検・評価の対象としました。

大項目2「教育委員会が管理・執行する事務」

地方教育行政の組織及び運営に関する法律及び御前崎市教育委員会の権限の一部を教育長に委任する規則の定めるところにより、教育委員会の権限のうち教育長に委任せず教育委員会が合議によって定め実施する

事項について、教育委員会が自ら管理・執行する事務として区分し、12の中項目に分けて構成いたしました。

この大項目内の各項目については、各事業実施年度において、教育委員会が計画し実施する性質のものではなく、事象が発生したときに法律等により実施義務が生じるものであります。従って事業実施年度における事象の発生件数とその事象への対応状況の点検を行いました。

大項目3「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」

教育委員会の職務及び事業から及びに掲げた事項を除いた部分について、管理・執行を教育長に委任して行う事務としてまとめることといたしました。この部分については、御前崎市の総合計画のもとに、毎年発行している「御前崎の教育」に掲げられた重点施策の7項目について評価を行うこととしました。

御前崎市教育委員会の職務・事業内容

自己点検・評価についての報告書をまとめるに当たっては、まずその対象となる教育委員会の権限に属する事務について、その概要の説明が必要となることから、教育委員会の職務・事業内容及び事業体系について記述し、その後、点検及び評価の対象年度における主要な事業について記述することといたします。

教育委員会の職務・事業内容及び事業体系については、既に「点検・評価結果の構成」において記述したとおり、「教育委員会の活動」、「教育委員会が管理・執行する事務」、「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」と大きく3項目に区分して表すことにいたしました。

以下、それぞれの大項目について示します。

1 教育委員会の活動

(1) 教育委員会とは

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(以下「地教行法」という。)の定めるところにより、学校その他教育機関の設置・管理、その他の教育事務を執行することを職務権限とする行政委員会であり、5人の委員をもって組織される合議体の執行機関です。

(2) 教育委員会の構成

御前崎市教育委員会の構成は、次のとおりです。

ア 委員・・・委員は、御前崎市長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育・学術及び文化に関し識見を有する者のうちから、市長が、市議会の同意を得て任命します。任期は4年で非常勤(教育長は常勤)です。

イ 委員長・・・教育委員会は、委員のうちから、教育委員会の会議を主宰し、教育委員会を代表する者として、委員長を選挙します。任期は1年、ただし、再選される場合があります。

ウ 教育長・・・教育委員会は、委員のうちから、教育長を任命します。教育長は、教育委員会の指揮監督の下に、教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどり、事務局の事務を統括し、所属の職員を指揮監督します。

(3) 御前崎市教育委員会委員の名簿

(平成25年3月現在)

役職名	氏名	任期
委員長	伊藤博之	平成23年 6月24日~平成27年 6月23日
委員	田代富美子	平成22年 6月24日~平成26年 6月23日
委員	吉村勝	平成24年 6月24日~平成28年 6月23日
委員	紅林幸枝	平成24年 6月24日~平成28年 6月23日
教育長	増田進吾	平成21年 6月24日~平成25年 6月23日

2 教育委員会が管理・執行する事務

教育委員会の職務権限は地教行法第23条にその職務権限が定められていますが、その職務権限に係るもののうち、以下のものについては、同法第26条第2項により教育長に委任することができず、直接、教育委員会が行うこととされています。

- (1) 幼児教育、学校教育、又は社会教育に関する一般方針を定めること。
- (2) 学校、公民館及び図書館の設置及び廃止を決定すること。
- (3) 県費負担教職員の懲戒及び県費負担教職員たる校長の任免その他の進退について内申すること。
- (4) 県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること。
- (5) 前2号に定めるもののほか、人事の一般方針を定めること及び懲戒を行うこと。
- (6) 県費負担教職員以外の校長、公民館長及び図書館長の任免を行うこと。
- (7) 教育長並びに教育委員会事務局職員の任免を行うこと。
- (8) 学校、公民館及び図書館の敷地を選定すること。
- (9) 教育委員会規則の制定又は改廃を行うこと。

- (10) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること。
 - (11) 社会教育委員、公民館運営審議会委員及び図書館協議会委員を委嘱すること。
 - (12) 校長、教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定めること。
 - (13) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること。
 - (14) 教科書図書採択に関すること。
 - (15) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うこと。
- 以上を、教育委員会が自ら行う事務として整理いたしました。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

この事務は、「御前崎の教育」に定められた事業で、同計画の中に

「基本目標 市民の笑顔がきらり輝く人づくり」

として定められた部分が、教育委員会が所管する事業となりますので、その事業体系を以下に示します。

この基本目標は、7つの施策により構成されています。

施策1 生活や遊びを通し「生きる力」を培う幼児教育

乳幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期です。生活や遊びを通し生きる力の基礎（心情・意欲・態度）を育むことを目指し、家庭・地域・関係機関との連携をとり、保育者の資質及び地域に根ざした温かな園経営の向上を目指し、この実現のため、次の4点を施策として取り組みます。

(1) 「生きる力」の基礎を身につける

子どもは遊びの中からたくさんの「生きる力」の基礎を学んでいます。生活や遊びの重要性と意義を深く捉え、主体的に遊びにかかわる力を培うために、環境構成（遊び）の充実を図り、園の学びが小学校へ滑らかに接続できるよう努めます。

(2) 保育者（教師・保育士）の資質向上を目指す

一人一人の良さと可能性を伸ばし育むために、保育士の確かな保育観や感性、専門職としての保育力が何よりも基盤となります。目の前にいる子どもの姿を通し研修を深め、保育力を磨き、資質の向上を目指します。

(3) 個性伸長（子育て）支援教育の充実

発達支援を必要とする子どもの個性や特徴に理解を深めるとともに、保護者や専門機関と連携を密にして、どの子どもも健やかに発達できるように努めます。

(4) 園と家庭と地域の連携強化

家庭や地域の人材、文化や自然環境などの地域力を保育へ生かすとともに、様々な人々との交流を通して相互が育ち合い、子どもが家庭や地域の宝となるよう、みんなで子どもを守り育てていくことの意識向上を図ります。

施策2 夢と活力にあふれ、一人一人が本当に大切にされる学校教育の推進

学校教育においては、確かな学力をつけ心身共に健康で他を思いやる豊かな感性を持った児童生徒の育成を図るため、児童生徒の「生きる力」、教職員の「指導力」、学校の「経営力」、地域・家庭と共に教育にあたる「共育力」の向上が重要であるとおさえ、この実現のため次の4点に力点をおき、学校への支援・指導を進めます。

(1) 個性伸長支援教育を柱とする教育活動の実施

児童生徒の個性や良さ、生育歴や置かれた状況を十分把握・理解し、将来を見据えた個性を伸長する教育を柱とする「個性伸長支援教育」をすべての教育活動の基本として学校支援・指導を進めます。

(2) 児童生徒の「生きる力」の育成

新学習指導要領の主旨にもとづく「生きる力」の育成を図るため、児童生徒が主体的に思考・判断する活動を意図的に行うよう指導・支援します。その際、学習支援員等を各校へ配置し、より効果的な活用方法の研究を進めながら児童生徒の支援に努めます。また、防災対応能力の向上を目指した防災教育の推進、特別支援教育の推進体制の確立、「サポートファイル」の配布・活用、児童生徒の意欲や才能の向上をねらいとする「灯台村塾」の充実に努めます。

(3) 指導力ある教職員の育成

教員の授業力・指導力向上を始め様々な課題解決に向かう対応能力や精神力の向上のため、経験段階や職務内容別に設定した各種教職員研修を充実、指導主事の学校訪問による授業づくり支援活動、学校改善ヒント集「いいね！いいら！やってみるか！！」の活用など、教職員育成を全面的に支援します。

(4) 保護者・地域との連携・協力による「共育力」の向上

保護者・地域住民の学校への理解の促進及び学校からの積極的な情報発信により、学校を応援し保護者・地域が共に児童生徒を育成する働き掛けを進めます。特に地域コーディネーターを中心に学校を支援する「学校支援地域本部事業」を積極的に推進します。

施策3 未来を担う子どもを育てる教育の充実

次代を担う子どもたちが、社会の変化に対応できる資質と、意欲を持った人間形成ができるよう、自立心を養う教育を進めます。

この実現のため、次の2点を施策に取組みます。

- (1) 体験や交流を通じて子どもたちの感動と規範意識を養う活動の実施
- (2) 子どもたちの想像力と知的探究心を養う「なぶら子ども読書活動」の推進

施策4 地域・家庭の教育力向上と青少年教育の充実

社会構造の変化の中で、大人が地域や家庭で子どもと接する機会が少なくなってきました。このことが子どもたちの基本的な生活習慣(道徳・しつけ)の乱れにつながっているとされています。そこで、家庭・学校・地域の連携により家庭教育を応援する施策を推進します。

この実現のため、次の4点を施策として取組みます。

- (1) 子どもたちの健やかな成長を目的に子育て中の親を支援する「愛さんさん共育」を関係機関連携のもとに推進
- (2) 家庭教育のあり方や充実に向けて家庭・地域・学校の連携を図った中での情報発信の実施
- (3) 市民力の醸成をめざすマナーモデル運動、家庭・企業を含めたホームマナーモデル運動の推進
- (4) 青少年健全育成サポート隊活動などによる見守り・声かけ活動の実施

施策5 だれもがいつでもどこでも学ぶことができる生涯学習の場づくり

生涯学習に対する市民のニーズに応えるため、各種講座や学習の情報を発信するとともに良好な学習環境の場を提供します。また、生涯学習の講師となり得る人材の把握に努め、積極的な活用を図ります。そのほか、地域の学習・情報拠点として図書館を中心に社会施設の充実を図ります。

この実現のため、次の3点を施策として取組みます。

- (1) CATV等を活用した生涯学習情報の提供
- (2) 公民館活動の推進と生涯学習拠点の強化
- (3) 図書館活動の充実と図書館情報の発信

施策6 市民の文化・芸術活動の支援と地域文化財の保護

文化団体との連携を深め、芸術文化活動を支える市民力のより一層の醸成に努めます。また、地域文化財については、埋蔵文化財・民具などの展示や遺跡についての啓発活動等を通じ、市民に積極的に公開していきます。また、先人たちが守ってきた自然環境や歴史的な文化遺産を保護・保存に努めていきます。

この実現のため、次の4点を施策として取組みます。

- (1) 文化団体への支援と育成及び連携
- (2) 文化財活用による郷土の誇りを育てる事業の推進
- (3) 国指定天然記念物であるアカウミガメの保護活動
- (4) 丸尾記念館、清川泰次芸術館・市民ギャラリー等の積極活用による文化活動の推進

施策7 心身ともに健康な市民をめざすスポーツの振興

市民の健康増進のため、ひとり1スポーツをめざし各種軽スポーツの普及や運動の機会を提供するとともに、御前崎市の特性であるマリンスポーツの普及に努めます。

この実現のため、次の3点を施策として取組みます。

- (1) 体力、年齢、目的に応じたスポーツに親しむ機会の提供
- (2) マリンスポーツの振興と普及
- (3) 体育協会やスポーツ推進員・スポーツ委員との連携による各種スポーツ大会の実施とスポーツ少年団活動への支援

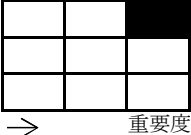
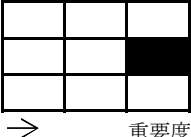
・ III 御前崎市教育委員会の自己点検及び評価

今回教育委員会の自己点検・評価について報告書をまとめるにあたり、教育委員会が行っている大項目1、2、3について自己点検評価シートにまとめました。

御前崎市教育委員会の 自己点検・評価シート	<p>◎3段階評価とし、以下の達成状況により評価しています。 ○実現度 3・・・達成またはほぼ達成している(概ね80%以上) " 2・・・概ね達成している(概ね40%超～80%未満) " 1・・・達成していない(概ね40%以下) ○重要度も上記に準じて評価し、該当するマスを塗りつぶしています。</p>
--------------------------	---

大項目 1 教育委員会の活動

中項目	小項目	点 検 ・ (評 価)	
(1) 教育委員会の 会議の運営改善	① 教育委員会会議の開催 回数	実現度 ↑ → 重要度	○教育委員会の施策について審議するため定例会を毎月1回の計12回開催すると共に、人事に係る内申について臨時会を1回開催した。今後も市の教育の充実のため、活発な議論の場としていきたい。
	② 教育委員会会議の運営 上の工夫	実現度 ↑ → 重要度	○議案及び資料の事前配布により、効率的な審議及び円滑な議会運営に努めている。
(2) 教育委員会の 活動	① 教育委員会会議の傍聴 者の状況	実現度 ↑ → 重要度	○傍聴者が1名あった。一層の会議の公開を進めるため、学校での会議開催や移動教育委員会の実施に向けて検討をした。
	② 議事録等の公開、広報・ 公聴活動の状況	実現度 ↑ → 重要度	○市のホームページに委員会の日程及び議案を掲載し開催の周知を図っているが、議事録の公開はしていない。
(3) 教育委員会と事 務局との連携	教育委員会と事務局との 連携	実現度 ↑ → 重要度	○教育委員会に先立ち、持ち回りによる議案及び資料の説明を行いスムーズな会議運営に努めている。
(4) 教育委員会と首 長の連携	教育委員会と首長との意 見交換会の実施	実現度 ↑ → 重要度	○市長と教育行政に係る諸問題について意見交換会を1回実施し、教育委員会と行政執行部との意志統一を図った。
(5) 教育委員の自 己研鑽	研修会への参加状況	実現度 ↑ → 重要度	○静岡県市町教育委員研修会に参加し教育情報の収集に努めると共に、道徳教育をベースとした学級活動の京都府長岡京市立神足小学校と学習支援の奈良県生駒市立生駒南第二小学校の先進的な取り組みについて視察研修を実施し、御前崎市で活用できる事例については、学校訪問等を通じ紹介した。 平成25年度御前崎市教育行政基本方針の研修会を12月5日に実施した。

(6) 学校及び教育施設に対する支援・条件整備	① 学校訪問	 実現度 ↑ → 重要度	○教育現場の実態把握のため幼・保・認可園・小・中学校を訪問し保育及び授業参観を通して園・学校関係者から実態や要望の声を聞き直面する問題に対して、助言し解決に努めると共に、運動会など園・学校の行事に積極的に参加した。
	② 所管施設の訪問	 実現度 ↑ → 重要度	○社会教育施設の訪問は実施出来なかった。

大項目 2 教育委員会が管理・執行する事務

中項目	小項目	件数	点検
(1)	学校教育及び社会教育に関する一般方針を定めること	1	○御前崎市教育委員会の主要施策を「御前崎の教育」としてまとめ、教育委員会に諮り決定した。
(2)	教育委員会規則の制定又は改廃を行うこと	2	○「御前崎市立小中学校管理規則の一部改正について」、「御前崎市児童生徒の就学等に関する規則の一部改正について」を議決した。
(3)	教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること	0	
(4)	職員の任免を行うこと	1	○教育委員会採用職員の採用・退職について決定を行った。
(5)	県費負担教職員の任免その他の進退について内申すること	1	○教職員人事について内申を行った。
(6)	県費負担教職員の服務、監督の一般方針を定めること	0	
(7)	学校教育及び社会教育に関する各種の委員等の任命及び委嘱すること	4	○公民館運営審議会委員、公民館長、社会教育委員、図書館協議会委員の任命・委嘱をした。
(8)	教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること	5	○平成24年度補正予算(第1号)(9月定例会) ○平成24年度補正予算(第2号)(12月定例会) ○平成24年度補正予算(第3号)(2月定例会) ○平成25年度当初予算(1月定例会) について具申した。
(9)	教科用図書の採択を行うこと	0	
(10)	校長、教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定めること	1	○校長会、教頭会、教務主任者会、生徒指導主事・主任会等各研修会の計画について検討し、実施した。
(11)	教育委員会の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うこと	1	○平成24年度御前崎市教育委員会の活動及び事務について点検・評価を行った。
(12)	指定文化財を指定し、又は解除すること	0	

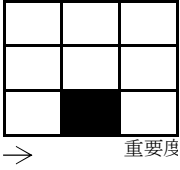
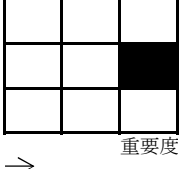
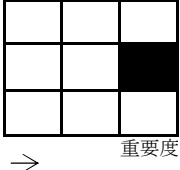
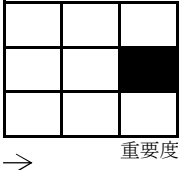
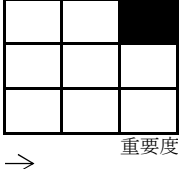
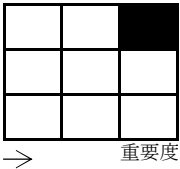
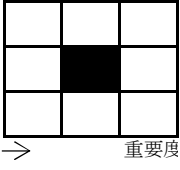
大項目 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点 検 ・ 評 価	
(1) 生活や遊びを通し「生きる力」を 培う乳幼児教育	①「生きる力」の基礎を身につける	<p>実現度 ↑ → 重要度</p>	○「生きる力」の基礎を身につけるためには、環境の工夫をしたり個々への適切な援助をし、遊びを充実させることが大切であると考え研修を進めてきた。育てたい姿(この子につけたい力)を職員で共通理解して、研修してきたこともあり、幼児理解に対して意識も高まってきている。保幼小の連携がとれるようになってきて、各園での学びがつながりやすくなった。
	②保育者(教師・保育士)の資質向上を目指す	<p>実現度 ↑ → 重要度</p>	○各種研修会、市内研修会、外部講師を招いての園内研修会等、保育者一人一人の資質向上に向けて、研修が積み重ねられてきた。子どもの姿を捉えて日々の保育構想を持つことの大切さや、ねらいの考え方など、具体的な研修の内容が、職員の力になってきている。
	③個性伸長(子育て)支援教育の充実	<p>実現度 ↑ → 重要度</p>	○コーディネーターを中心に支援会議の内容や支援の方法が充実してきている。園内ケース会議も深められている(コーディネーター研修会、支援員研修会の成果も見られる)巡回相談や、市内療育機関の職員訪問等で、指導方法の助言が受けられ生かされている。支援員による個別支援は、発達促進に役立っている。保護者に理解してもらえないケースもあり苦慮することがある。
	④家庭・地域との連携強化	<p>実現度 ↑ → 重要度</p>	○育児に対して自信の持てない親が増えてきているため、保育参加、講演会、参観会、個人懇談などで子どもの生活や遊びが大切であることを伝えてきた。また、保護者との信頼関係を築き、気軽に相談できる雰囲気作りに努めてきた。地域の人とのかかわりや体験を保育に取り入れてきたことで、地域の方が園に関心を持つてくれるようになってきている。
(2) 夢と活力にあふれ、一人一人が 本当に大切にされる学校教育の 推進	①個性伸長支援教育を柱とする教育活動の実施	<p>実現度 ↑ → 重要度</p>	○個性伸長支援教育を学校支援・指導の基本・基盤として取り組んだ。各校においても、個性伸長支援教育を基本とした教育活動が展開されている。子どもたちの才能を伸ばすねらいで実施した灯台村塾は、5村を開設し合計191名が参加し、99%の参加者から「参加して良かった」という評価を得ることができた。
	②児童生徒の「生きる力」の育成	<p>実現度 ↑ → 重要度</p>	○学習支援員を各校に配置し、児童生徒の教育環境を向上させると共に、直接的な支援活動を行った。不登校児童生徒等への直接的支援として、適応指導教室「サンルーム」を設置している。また、児童生徒の防災教育を推進するために、「あり方検討会」による「御前崎市防災教育プラン(仮称)」の検討・作成を行った。複雑な養育環境におかれる児童生徒の増加により、関係機関との連携が求められている。
	③指導力ある教職員の育成	<p>実現度 ↑ → 重要度</p>	○「授業アドバイザー学校訪問」や各種教職員研修の充実など、継続的な支援を行っている。浜岡中学校では、授業改善に向けた2年間の研究成果の発表会が開催され、市内外の参加者から高評価を得た。ただ、教職員の授業改善に対する意識は向上しつつあるが、新学習指導要領に対応した授業改善を更に進める必要がある。

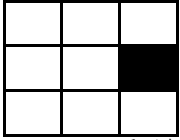
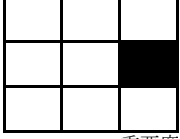
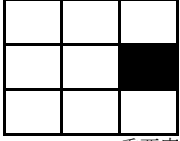
大項目 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点 検 ・ 評 価	
(2) 夢と活力にあふれ、一人一人が本当に大切にされる学校教育の推進	④保護者・地域との連携・協力による「共育力」の向上	実現度 重要度 →	○各校とも「きずなネット」による情報発信を継続して行っている。また、学校支援地域本部事業が学校支援の機会として確実に定着しつつある。ただ、地域住民が学校を理解するよい機会にもなっているが、市や学校への理解が十分進んでいるとは言えず、愛さんさん共育を通じた連携強化が必要である。
(3) 未来を担う子どもを育てる教育の充実	①体験や交流を通じて子どもたちの感動と規範意識を養う活動の実施	実現度 重要度 →	○朝比奈・佐倉・御前崎地区で実施した通学合宿には、110名の児童が参加し、集団行動を通じ自立心や協調性を養う貴重な体験を積むことができ、小・中連携洋上体験合宿には、140名の小学生の参加があり、子供たちの規範意識を養ういい経験となり新時代を担う子供たちの育成につながっている。
	②子供たちの想像力と知的探究心を養う『なぶら子ども読書活動』の推進	実現度 重要度 →	○なぶら子ども読書活動は、図書館の児童へのサービスとして定着した。御前崎市の小学生が1ヶ月に読む本は23冊と全国平均の10冊を大きく上回った。
(4) 家庭・地域の教育力向上と青少年教育の充実	①子どもたちの健やかな成長を目的に子育て中の親を支援する「愛さんさん共育」を関係機関連携のもとに推進	実現度 重要度 →	○関係各課と連携を密に、市民向けの「愛さんさん共育」の情報発信を行う。また、市役所職員には愛さんさん共育の理解を深めるため、趣旨を示した。講演会を開催し、親子共々楽しめるイベントなどを実施。子育て支援・青少年健全育成を目的にそれぞれの部署で事業に取り組んだ。
	②家庭教育のあり方や充実に向けて家庭・地域・学校の連携を図った中で情報発信の実施	実現度 重要度 →	○個人自由主義化の風潮の中、低年齢層においても様々な問題が発生している。各学校に組織されている家庭教育学級では、それぞれ工夫を凝らした事業を展開した。今後も家庭・地域・学校の三者が一体となり、情報を共有化し地域の子どものびのび健全に育つよう協力体制の構築を考える必要がある。
	③市民力の醸成をめざすマナーモデル運動、家庭・企業を含めたホームマナーモデル運動の推進	実現度 重要度 →	○ホームマナーモデル運動を通して「和のある家庭」をめざす。心が安らぐ家庭があれば心身ともに健康に暮せます。そこに生活も安定し希望をもって生きられます。目に見えにくい個人の心の働きを取り上げている事業。
	④青少年健全育成サポート隊活動などによる見守り・声かけ活動の実施	実現度 重要度 →	○子どもたちが安心して生活できるよう市民が見守る事業の一つ。子どもたちに声を掛け合えることが、サポート隊員の活力にもつながっている。公民館長が中心になり、年度始めには地区説明会を開催し士気を高めている。

大項目 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点 検 ・ 評 価	
(5)だれもがいつでもどこでも学ぶことができる生涯学習の場づくり	①CATV等を活用した生涯学習情報の提供	実現度 ↑  重要度 →	○生涯学習活動の推進のため、CATVを活用しきれていない。スマートフォン等新規情報端末を活用しての若者を取り込む工夫も必要。
	②公民館活動の推進と生涯学習拠点の強化	実現度 ↑  重要度 →	○公民館の生涯学習活動推進については、市でも補助金を支出し支援している。各公民館事業とも工夫を凝らした中で、地域に根ざした活動をしているが、まだ全体的な市民のニーズ（特に若者）に応えきれていない点もあるのが現状。行ってみたい公民館、参加してみたい生涯学習活動を目指し、充実させる必要がある。
	③図書館活動の充実と図書館情報の発信	実現度 ↑  重要度 →	○本の貸出し・閲覧などの図書館サービスの充実と講演会や2階ギャラリーでの多種多様な展示会を通して広く市民に情報の提供を行った。またCATVのアスパルとれたて便の内容を一新し、年4回の放送を毎月に変更した。
(6)市民の文化・芸術活動の支援と地域文化財の保護	①文化団体への支援と育成及び連携	実現度 ↑  重要度 →	○文化協会に対し財政支援を行うとともに、市文化祭を開催し市民の芸術文化活動の発表の場を提供し、市内60団体約1,000人が参加した。また、市内小・中学校音楽発表会も実施し、日頃の練習成果を披露した。
	②文化財活用による郷土の誇りを育てる事業の推進	実現度 ↑  重要度 →	○今年度は広報おまえぎきに毎月掲載している「History キラリを再発見」コーナーで紹介した遺跡や出土遺物等を紹介する展示会や講演会を開催した。また、小学校や老人会等へ出向き埋蔵文化財や指定文化財の出張授業を開催したり、大産業祭において火起こしや勾玉作り等の体験学習を実施し、地域の文化財に関心がもたれるように努めた。
	③国指定天然記念物であるアカウミガメの保護活動	実現度 ↑  重要度 →	○ウミガメ保護監視員の地道な保護活動により、14,139頭の子ガメを海に返すことが出来た。あわせて産卵観察会と放流観察会を実施し、市内外から多くの人々が参加者した中で自然の大切さを訴え、環境保護教育の一助を担った。
	④丸尾記念館、清川泰次芸術館・市民ギャラリー等の積極的活用による文化活動の推進	実現度 ↑  重要度 →	○丸尾記念館で行うお茶会には、大人だけでなく伝統文化こども茶道教室の子ども達による御点前もあり、年々充実してきている。また、清川泰次芸術館・市民ギャラリーについては、市民の創作作品の展示を昨年度に引き続き行い、利用者の増大を図ったが、まだまだ、来館者の増加を図る手段を考えていく必要がある。

大項目 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点 検 ・ 評 価	
(7)心身ともに健康な市民をめざすスポーツの推進	①体力、年齢、目的に応じたスポーツに親しむ機会の提供	実現度 ↑  → 重要度	○スポーツ推進委員が軽スポーツ教室の内容の充実化を図るため、各種研修に積極的に参加した。教室のマンネリ化、幅広い年齢層に対応する新たな教室を検討する必要がある。
	②マリンスポーツの振興と普及	実現度 ↑  → 重要度	○マリンスポーツクラブの協力により、市内外の小学校マリンスポーツ体験や、障害者を対象に教室を実施し、多くのリピーターや問い合わせが増えている。今後も需要に対し対応できるクラブの体制の確立が必要である。
	③市体育協会やスポーツ推進員・スポーツ委員との連携による各種スポーツ大会の実施とスポーツ少年団活動への支援	実現度 ↑  → 重要度	○スポーツイベントの中心は体育協会であるが、現状、イベントを実施するにはスポーツ推進委員やスポーツ委員の応援を必要としている。体育協会はより一層の組織・態勢の充実が求められている。スポーツ少年団の育成支援については体育協会を通じ、各団に市から活動及び育成費を支援している。各団とも優秀な活躍が報告されている。

学識経験者の意見

1 大項目1 教育委員会の活動

教育委員会会議の傍聴者の状況について

今年度は傍聴者が一名あったが、教育委員会活動が市民に理解されるよう「移動教育委員会」や「教育討論会」のような市民が傍聴しやすい方法を検討するとともに市民への情報発信に努めてほしい。

所管施設の訪問について

生涯学習の進捗状況を把握するため公民館・図書館等の施設訪問を実施してください。

2 大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

子どもたちの健やかな成長を目的に子育て中の親を支援する「愛さんさん共育」を関係機関連携のもとに推進

家庭教育力の低下により、基本的な生活習慣やしつけの出来ない親が増えてきています。家庭・地域・学校が一体となり子どもたちを育てていかなければなりません。家庭教育が基盤となるので関係機関との連携を強化して「愛さんさん共育」の啓発とさらなる推進を図る必要があります。

公民館活動の推進と生涯学習拠点の強化

御前崎市はコミュニティー活動中心の特色ある公民館活動を推進して成果をあげていますが、地区単位のみではなく市全体としての学習講座等の生涯学習の場の提供にも取り組んでください。また、ダンスやパフォーマンス教室等、若者を呼び込む工夫を検討してください。

3 その他事項

目的を明確にして成果を記録していくと次につながります。今回の点検評価を踏まえ次年度の施策を展開していくことが大切です。

総合評価

総評

御前崎市では、「市民の笑顔がきらり輝く人づくり」の基本目標を達成するために、教育委員会が、幼児教育・学校教育・社会教育の充実に努めてきたことが示されている。自己点検・自己評価の各項目において、昨年度の状況を維持または発展させるよう努力してきた施策の成果が表れている。御前崎市ならではの特色ある教育施策が策定・実施されており、伝統文化や地域の自然を生かした内容が評価できる。

今後も、教育委員会を中心とした教育行政施策が、幼児教育・学校教育・生涯学習・社会教育の各分野において、実際の子どもや市民への教育・学習成果として還元されていくかを評価の視点として十分に見ていく必要がある。

大項目 1 教育委員会の活動について

教育委員会の活動は、全般に円滑な会議運営を基本に、教育委員研修、教育現場の実態把握など、前向きな取り組みがなされている。特に、(1)では、堅実な運営が図られており、(5)の県外視察研修、御前崎市教育行政基本方針の研修にも取り組んでいる。ただし、(2)の傍聴希望者の状況や広報の関係については、他の市も達成度の低いところが多く容易ではないものの、御前崎市においても、CATVの活用、教員研修との組み合わせなど、今後における一層の工夫が望まれる。

大項目 2 教育委員会が管理・執行する事務

「御前崎の教育」が、御前崎市教育の柱として策定されており、管理・執行する事務が堅実に行われている。校長・教員その他の教育関係職員の研修に関する一般方針が策定されており、時代の変化に対応した研修が行われていると評価できる。様々な教育改革が進む中、今後も校長・教員等の資質向上が一層重視されていく必要がある。

大項目 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

幼児教育に関しては、人間形成の根幹となる時期であり、生きる力の基礎を養う上で重要である。御前崎市においては、(1)で分かるように、各種の教員研修、保護者との連携、保幼小連携、地域連携などに積極的に取り組んでいる。社会が変化する中で、保護者の状況も多様化しており、今後も一層の配慮と連携が必要になる。御前崎市の地理的環境から、幼児に対する地震・津波などの防災対策・教育を十分に行う必要がある。

学校教育に関しては、個性伸長支援教育、指導力ある教職員の育成、サンプールの設置、などが成果を上げている。御前崎市ならではの特色ある教育活動が展開されている点が高く評価される。課題としては、保護者が多様化する中で学校・家庭との連携を一層強化すること、(2)の地震・津波などへの防災教育プランを継続して十分に行うことなどである。

生涯学習・社会教育に関しては、History キラリを再発見、ウミガメ保護運動、丸尾記念館お茶会、通学合宿、ホームマナーモデル運動、マリンスポーツなど、御前崎市の特色を生かした取り組みが毎年なされている。(3)の「洋上体験

合宿」の「なぶら子ども読書活動」など、御前崎市ならではの特色ある活動が前向きに行われている。特に、(6) で評価されているように、アカウミガメの保護活動は全国レベルで充実している。生涯学習社会が進展する中で、(5) の図書館活動の一層の充実、(7) の生涯スポーツの推進などが今後も重要である。

